

# 大田区地域防災計画（令和4年修正）の修正概要

## 1 修正の背景

現行の地域防災計画は、令和元年台風第19号対応の課題に伴う風水害対策の強化及び災害時の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、令和3年修正（部分修正）を行ったものである。

令和4年修正では、上位計画である東京都地域防災計画の修正及び関連法令の改正との整合を図るとともに、区及び関係機関の防災対策に係る取組の最新の状況を反映する。

## 2 修正概要

### （1）計画体系を整理

		旧		新	
第1部 総則	第1編	計画の方針		計画の方針	
	第2編	区の地勢		区の地勢	
	第3編	計画の前提条件		災害時における公助機関の組織と役割	
	第4編	防災対策の時系列シミュレーション（災害事象と災害対応）			
	第5編	業務計画（震災編）等の策定による補完			
第2部 震災予防・応急・復旧計画	第1編	自助・共助・公助の役割		総則	
		第1章	自助の役割	第1章	首都直下地震等の大田区の被害想定
		第2章	共助の役割	第2章	防災対策の時系列シミュレーション（災害事象と災害対応）
	第3章	公助の役割	第3章	業務計画（震災編）等の策定による補完	
第2編	地域防災力の向上		地域防災力の向上 ※旧第1編の「自助・共助・公助の役割」を吸収。		
第4部 風水害予防・応急・復旧計画	第1編	風水害対策に強いまちづくり		総則 ※上記に準ずる	

#### ア 第1部「総則」

震災編の内容に偏っていたため、各災害共通事項となるよう修正した。

#### イ 第2部「震災予防・応急・復旧計画」

第1編に「総則」を設け、現行版の第1部「総則」に掲載されていた首都直下地震等の被害想定等、震災対策の計画の前提を集約した。

#### ウ 第4部「風水害予防・応急・復旧計画」

第1編に「総則」を設け、区で想定される風水害による災害等、風水害対策の計画の前提を集約した。

#### エ 各種データ資料

実績など数値データ資料については、可能な限り資料編に集約し本編をスリム化した。

### （2）災害対策基本法の改正に係る取組

#### ア 避難情報（警戒レベル）の見直しに伴う区の避難情報発令基準の見直し

避難勧告・避難指示の一本化等避難情報の包括的な見直しに伴い、区の各事象（多摩川・中小河川・高潮・土砂災害）における避難情報の発令基準の見直しを実施した。

#### イ 個別避難計画の作成

個別避難計画の作成が努力義務化されたことに伴い、区における個別避難計画の作成方針を反映した。

### （3）東京都地域防災計画との整合性確保

#### ア 震災編

災害に強いまちづくりの推進、女性や外国人視点防災対策の充実等

#### イ 風水害編

新型コロナウイルスの感染症対策や電源確保対策、マイ・タイムラインの普及拡大等

### （4）区の災害対策の課題と対応を反映（別紙1、別紙2参照）

人材育成・防災教育、強靱な本部体制の構築、災害弱者対策等に関する事項を重視し、計画に反映した。

## 3 今後のスケジュール（予定）

時期	項目
10月上旬～	東京都へ事前協議（約2か月予定）
10月22日	第1回防災会議 ・大田区地域防災計画の修正について（素案の審議）
10月22日～11月25日	大田区防災会議委員意見照会期間
10月28日～11月25日	パブリックコメント実施期間
令和4年2月4日	第2回防災会議 ・大田区地域防災計画の修正について（素案の承認）
3月中	大田区地域防災計画（令和4年修正）公表